

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-297238
(P2001-297238A)

(43) 公開日 平成13年10月26日(2001.10.26)

(51) Int Cl.
G 0 6 F 17/60

識別記号
318
106
124
502

F I
G O 6 F 17/60

テマコート[®](参考)

G 03 B 27/46

G 03 B 27/46

B

審査請求 未請求 請求項の数45 OL (全 22 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願2001-19504(P2001-19504)
(22)出願日	平成13年1月29日(2001.1.29)
(31)優先権主張番号	特願2000-20111(P2000-20111)
(32)優先日	平成12年1月28日(2000.1.28)
(33)優先権主張国	日本(JP)

(71) 出願人 000001270
コニカ株式会社
東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72) 発明者 上田 豊
東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

(72) 発明者 上村 裕之
東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

(72) 発明者 飯塚 宏之
東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

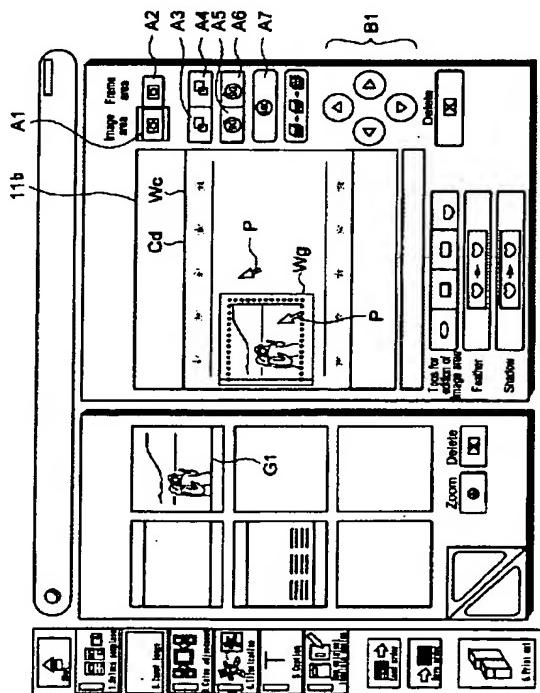
最終頁に統く

(54) 【発明の名称】 プリント注文受付器、プリント注文受付作成システム、及びプリント注文データプロダクト

(57) 【要約】

【課題】操作に不慣れな者であっても画像の合成を容易に行えると共に上記の素早く、確実にプリント画像が得られるプリント注文受付器、プリント注文受付作成システム及びプリント注文データプロダクトを提供する。

【解決手段】画像データを基にして表示画面11に表示された画像編集作業の実行時は、編集中の画像の種類によって、例えば住所の画像A-Dは、その回転を禁止するので、画像編集者が、編集しようとしている画像が、回転できるものか否か自ら判断することなく編集作業を行えるため、編集を迅速に行えるにも関わらず、例えば編集された画像についてプリントを作成する際にエラーなどが生じることを抑制できる。



- 【特許請求の範囲】
 1
 【請求項1】 表示画面と、
 顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、
 メモリと、
 プリント注文のため前記表示画面上で前記オリジナル画像データをオリジナル画像オブジェクトとして処理し、前記オリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成し、編集することの可能なオブジェクト操作手段と、
 前記オブジェクトの操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し、前記プリント注文情報作成手段は、合成されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、複数のオブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、かつ前記メモリに保存することを特徴とするプリント注文受付器。
 【請求項2】 前記テキストデータはテキストファイルとして前記メモリに保存されることを特徴とする請求項1に記載のプリント注文受付器。
 【請求項3】 前記操作情報は、オリジナル画像オブジェクトに対する色変換、回転、変形、サイズ変更の操作の少なくともいずれか一つに対応し、画像オブジェクトと対応づけたデータとして前記テキストデータに記述されることを特徴とする請求項1又は2に記載のプリント注文受付器。
 【請求項4】 前記操作内容は、顧客のオリジナル画像データを直接処理することなくテキストに置き換えられることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項5】 前記複数のオブジェクトは文字列（STRING）データに対応する文字オブジェクトを含み、前記オブジェクト操作手段は前記オリジナル画像オブジェクトと文字オブジェクトを合成することが可能であり、前記操作情報には文字オブジェクトに対する操作を含むことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項6】 前記複数のオブジェクトは所定のテンプレートに対する第2の画像オブジェクトを含み、前記オブジェクト操作手段は第2の画像オブジェクトと前記オリジナル画像オブジェクト間のレイアウトを操作可能であり、前記操作情報は前記レイアウトに対応する操作内容をテキストデータとして含むことを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項7】 前記操作情報は画像オブジェクトを配置するためのレイアウト枠の種類、属性を含むことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項8】 前記プリント注文情報生成手段は、前記

- テキストデータを保存するフォルダに対応するパスを生成することを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項9】 前記パス名はプリント注文情報をユニークに示す注文IDを含むことを特徴とする請求項8に記載のプリント注文受付器。
 【請求項10】 前記顧客の画像データと前記テキストデータは前記フォルダに格納されることを特徴とする請求項1乃至9のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 10 【請求項11】 前記アドレスおよび操作情報は前記テキストデータ上に所定のフォーマットで記述されることを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項12】 前記アドレスおよび操作情報は前記テキストデータ上に予約語と共に記述されることを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 20 【請求項13】 前記テキストデータはテキストファイルとしてメモリに保存されることを特徴とする請求項1乃至12のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項14】 前記プリント注文情報生成手段は、前記複数のオブジェクトの操作結果を示すサムネイル画像を生成し、前記テキストデータと対でメモリに保存することを特徴とする請求項1乃至13のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項15】 前記プリント注文情報生成手段は、写真受付をした店舗に関する情報、顧客に関する情報、課金に関する情報、の少なくとも1つを含むテキストデータを生成することを特徴とする請求項1乃至14のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 30 【請求項16】 前記画像データ入力部はメモリスロットで構成され、顧客の画像データを格納したリムーバブルメディアから画像データを読みとることを特徴とする請求項1乃至15のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項17】 前記メモリは少なくとも顧客の画像データを記憶可能なメモリであり、該メモリ内には顧客の画像データと共に前記テキストデータを格納することを特徴とする請求項1乃至16のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 40 【請求項18】 前記プリント注文情報を格納したメモリはリムーバブルメディアであることを特徴とする請求項1乃至17のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項19】 前記プリント注文情報はデータ転送手段を介してメモリから外部へ転送可能であることを特徴とする請求項1乃至18のいずれかに記載のプリント注文受付器。
 【請求項20】 前記テキストデータは、回転、移動、拡大又は縮小の操作の少なくとも一つを制限または禁止するテキストデータをオブジェクト毎に含むことを特徴

とする請求項1乃至20のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項21】 前記複数のオブジェクトは文字列（STRING）データに対応する文字オブジェクトを含むとともに、前記オブジェクトが文字オブジェクトの場合、オブジェクトの回転を禁止することを特徴とする請求項1乃至20のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項22】 前記プリント注文情報は、顧客を特定するデータ、店舗を特定するデータの少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項1乃至21のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項23】 プリント注文受付器と、
プリントを生成するための画像形成装置と、
プリント注文受付器から画像形成装置間にプリント注文
情報を送るためのデータ移動手段と、を有し、
前記プリント注文受付器は、

表示画面と、
顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、
メモリと、

前記表示画面上で前記オリジナル画像データに対応する
オリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクト
を合成および編集することの可能なオブジェクト操作手段と、
操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント
注文情報生成手段と、を有し、

前記プリント注文情報生成手段は、操作されたオリジナル
画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、
オリジナル画像オブジェクトに対する操作内容に対
応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、
前記メモリに保存し、

また前記画像形成装置はプリント注文情報を受け取
ると、前記プリント注文情報内の前記テキストデータに基
づき、プリント注文受付器の操作結果に対応する画像を
オリジナル画像に基づいて再現し、プリント作成を実行
することを特徴とするプリント注文受付作成システム。

【請求項24】 前記データ移動手段としてリムーバブル
メディアを利用することを特徴とする請求項24に記
載のプリント注文受付作成システム。

【請求項25】 前記データ移動手段としてネットワー
クを利用することを特徴とすることを特徴とする請求項
24又は25に記載のプリント注文受付作成システム。

【請求項26】 顧客のプリント注文を特定する注文ID
を有するフォルダと、
前記フォルダ内に格納された顧客の注文するオリジナル
画像データと、

前記フォルダ内に格納され、オリジナル画像データに対
応するオリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジ
エクトに対する合成内容を示す編集データと、を有し、

前記編集データはテキストデータであり、オリジナル画
像データのアドレスに対応する第1のテキストデータ
と、前記複数のオブジェクトに対する合成のための操作
を示す第2のテキストデータを対にして格納したテキス
トファイルであることを特徴とするプリント注文データ
プロダクト。

【請求項27】 リムーバブルメディアに記録されてい
ることを特徴とする請求項26に記載のプリント注文デ
ータプロダクト。

10 【請求項28】 ネットワーク上で転送可能であること
を特徴とする請求項26又は27に記載のプリント注文
データプロダクト。

【請求項29】 オーダー情報ファイル内の前記第2の
テキストデータはオリジナル画像オブジェクトと他のオ
ブジェクトの合成内容を指定するテキストデータを含む
ことを特徴とする請求項26乃至28のいずれかに記載
のプリント注文データプロダクト。

【請求項30】 他のオブジェクトはオリジナル画像を
貼り付けるためのテンプレートに対応するオブジェクト
であることを特徴とする請求項29に記載のプリント注
文データプロダクト。

【請求項31】 前記第2のテキストデータはテンプレ
ート内でオリジナル画像を配置するためのレイアウト枠
に対する指定情報を含むことを特徴とする請求項26乃
至30のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項32】 レイアウト枠に対する指定情報は、レ
イアウト枠自体の種類、位置、サイズ、形状の少なくとも
一つを含むことを特徴とする請求項31に記載のプリ
ント注文データプロダクト。

【請求項33】 前記第2のテキストデータは前記レイ
アウト枠に対するオリジナル画像オブジェクトの位置情
報を含むことを特徴とする請求項31に記載のプリント
注文データプロダクト。

【請求項34】 他のオブジェクトは文字列に対応する
文字オブジェクトであることを特徴とする請求項29乃
至33のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項35】 前記フォルダは文字に対応する文字デ
ータを含み、前記テキストファイルは前記文字データに
対応するアドレスを第3のテキストデータとして保持す
ることを特徴とする請求項26乃至34のいずれかに記
載のプリント注文データプロダクト。

【請求項36】 前記第2のテキストデータはオブジ
エクトの回転角度、拡大率の少なくとも1つに対応する
ことを特徴とする請求項26乃至35のいずれかに記載
のプリント注文データプロダクト。

【請求項37】 前記注文IDは顧客、店舗、受付日時
の少なくとも一つを特定するデータにより生成される
ことを特徴とする請求項26乃至36のいずれかに記載の

プリント注文データプロダクト。

【請求項38】 前記注文IDはプリントが未了か否かを示す識別子を含むことを特徴とする請求項26乃至37のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項39】 前記フォルダはさらにテンプレート画像に対応する識別データを含み、前記識別データは前記オリジナル画像オブジェクトと対になったテキストデータとして記憶されることを特徴とする請求項26乃至38のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項40】 前記フォルダはさらに合成結果に対応したサムネイル画像データを格納し、サムネイル画像データはオリジナル画像データを間引きした画像データに基づき生成された画像データであることを特徴とする請求項26乃至39のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項41】 前記フォルダはさらに顧客を特定するデータ、店舗を特定するデータの少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項26乃至40のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項42】 前記フォルダはさらに日時に関するデータを含むことを特徴とする請求項26乃至41のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項43】 前記フォルダはさらに顧客毎のパスワードに関するデータを含むことを特徴とする請求項26乃至42のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項44】 前記テキストファイルは、回転、移動、拡大又は縮小の操作の少なくとも一つを制限または禁止するテキストデータをオブジェクト毎に含むことを特徴とする請求項26乃至43のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【請求項45】 前記フォルダはさらにプリントを行う記録媒体種に関するデータを含むことを特徴とする請求項26乃至44のいずれかに記載のプリント注文データプロダクト。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、表示画面上に表示されたオリジナル画像オブジェクトを編集し、編集画像オブジェクトを得るためのプログラム、及びかかるプログラムを利用したプリント注文受付器及びプリント注文受付作成システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 被写体の光学像を、デジタル画像データに変換してメモリカードなどに記憶可能なデジタルカメラが開発され、既に市販されている。デジタルカメラには、画像表示用の液晶パネルが通常装備されているので、記憶された画像データに基づいて、かかる液晶パネルに撮像した画像を表示させることができる。

【0003】 ところで、銀塩写真等とは異なり、デジ

ルカメラの液晶パネルに表示された画像は、例えばデジタルカメラの電源をオフにすると消えてしまうような一時的なものであるため、長時間にわたって画像を鑑賞するような場合には、液晶パネルによる表示は不適切であるという問題がある。また、複数人を被写体としてデジタルカメラにより撮像した後に、各人に画像を提供したい場合があるが、画像データ自体は別な記憶媒体にコピーできるとしても、画像の表示手段を有しない者は、コピーされた画像データを記憶した記憶媒体などを提供された場合には、そのままでは、かかる画像を鑑賞できないという問題がある。

【0004】 これに対し、記憶媒体に記憶された画像データをパソコンなどに読み込んで、画像としてディスプレイに表示させたり、パソコンに接続されたプリンタを介して画像をプリントするということは可能である。しかしながら、パソコン及びプリンタなどの周辺機器は一般的に高価であるため、デジタルカメラにより撮像された画像を鑑賞しようとする全ての者が、パソコンなどを使用できるとは限らない。従って、デジタルカメラにより撮像された画像を、より簡易に鑑賞できるシステムが必要とされている。

【0005】 このような問題に対し、たとえばデジタルカメラの撮像によって得られた画像データに基づいて、画像をプリントするサービスが考えられている。かかるサービスは、顧客が画像データを記憶した記憶媒体（メディア）をラボなどに持参することによって、ラボ側でかかる画像データをプリントとして出力し、所定の料金と引き替えにプリントを顧客に提供するものである。かかるサービスを利用する顧客は、画像をプリントするのに何ら特殊な装置を所有する必要はなく、銀塩写真などと同様に簡易にプリントを得ることができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、デジタルカメラの撮像した画像データに基づいて画像を形成する場合、銀塩写真並の高画質を得るために、パソコンに接続可能な汎用プリンタのごとき簡易な装置では足らず、より高精度の画像形成装置が必要となる。かかる画像形成装置は、現時点では比較的高価であるため、すぐに広範囲に導入される可能性は低い。従って、かかる画像装置が広範囲に導入されるまでに、デジタルカメラの画像をプリントするサービスは、例えば複数の取次店などで顧客から、記憶装置を有するプリント注文受付器を介して画像データや注文内容を含む情報を受け取った後、かかる情報を特定の場所に設置された画像形成装置に送って、所望の画像をプリントした後、注文を受けた取次店を介して、プリント画像を顧客に提供するという形をとると考えられる。

【0007】 ここで、例えばポストカードやカレンダーなど画像を合成してプリントしたい場合には、いかなる態様でプリント注文を行うかが問題となる。すなわち、

顧客が予めパソコン等を用いて画像を合成すれば問題はないが、顧客全てが常に画像を合成できる環境にあるとは考えられず、多くの場合プリント注文時に画像の合成を行うことが予想される。ところが、顧客が取次店に対して画像の合成内容を、口頭で詳細に説明することは相当な時間がかかり、その結果必ずしも顧客が満足する合成が得られるとは限らない。

【0008】一方、取次店に設置されたパソコンなどを用いて、顧客自ら画像の合成を行うことも考えられるが、操作に不慣れな顧客が、汎用の画像処理ソフト及びパソコンを用いて所望の画像の合成を行うことは、殆どの場合不可能であると考えられる。

【0009】これに対し、各店舗に専用の端末を配置することも考えられるが、画像処理に時間がかかりすぎると注文の受付に大きな問題を生じる可能性がある。また店舗での画像加工の中で顧客の画像（オリジナル画像）を誤って消してしまう可能性や復旧不可能なように壊してしまった可能性も懸念される。また編集後の画像を迅速に画像形成装置で処理する必要があり、そのための画像データを含む注文情報をどのような形式にするかも大きな問題となる。

【0010】店舗で迅速な編集と注文が可能であることと、画像形成装置での処理の高速化と、さらに確実に顧客の望む編集画像がプリントできること、の全てを実現する必要がある。

【0011】そこで本発明はかかる従来技術の問題点に鑑み、操作に不慣れな者であっても画像の合成を容易に行えると共に上記の素早く、確実にプリント画像が得られるプリント注文受付器、プリント注文受付作成システム及びプリント注文データプロダクトを提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】第1の本発明のプリント注文受付器は、表示画面と、顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、メモリと、プリント注文のため前記表示画面上で前記オリジナル画像データをオリジナル画像オブジェクトとして処理し、前記オリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成し、編集することの可能なオブジェクト操作手段と、前記オブジェクトの操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し、前記プリント注文情報作成手段は、合成されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、複数のオブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、かつ前記メモリに保存することを特徴とする。

【0013】第2の本発明のプリント注文受付作成システムは、プリント注文受付器と、プリントを生成するための画像形成装置と、プリント注文受付器から画像形成装置間にプリント注文情報を送るためのデータ移動手段

と、を有し、前記プリント注文受付器は、表示画面と、顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、メモリと、前記表示画面上で前記オリジナル画像データに対応するオリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成および編集することの可能なオブジェクト操作手段と、操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し、前記プリント注文情報生成手段は、操作されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、オリジナル画像オブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、前記メモリに保存し、また前記画像形成装置はプリント注文情報を受け取ると、前記プリント注文情報内の前記テキストデータに基づき、プリント注文受付器の操作結果に対応する画像をオリジナル画像に基づいて再現し、プリント作成を実行することを特徴とする。

【0014】第3の本発明のプリント注文データプロダクトは、顧客のプリント注文を特定する注文IDを有するフォルダと、前記フォルダ内に格納された顧客の注文するオリジナル画像データと、前記フォルダ内に格納され、オリジナル画像データに対応するオリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトに対する合成内容を示す編集データと、を有し、前記編集データはテキストデータであり、オリジナル画像データのアドレスに対応する第1のテキストデータと、前記複数のオブジェクトに対する合成のための操作を示す第2のテキストデータを対にして格納したテキストファイルであることを特徴とする。

【0015】

【作用】第1本発明のプリント注文受付器は、表示画面と、顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、メモリと、プリント注文のため前記表示画面上で前記オリジナル画像データをオリジナル画像オブジェクトとして処理し、前記オリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成し、編集することの可能なオブジェクト操作手段と、前記オブジェクトの操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し、前記プリント注文情報作成手段は、合成されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、複数のオブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、かつ前記メモリに保存するので、例えば、かかるメモリから前記アドレスと前記テキストデータを読み出すことによって、容易に再注文を行うことができ、また前回の注文に対して一部変更することも容易にできるようになる。

【0016】更に、前記テキストデータはテキストファイルとして前記メモリに保存されると好ましい。

【0017】又、前記操作情報は、オリジナル画像オブジェクトに対する色変換、回転、変形、サイズ変更の操

作の少なくともいずれか一つに対応し、画像オブジェクトと対応づけたデータとして前記テキストデータに記述されると好ましい。

【0018】更に、前記操作内容は、顧客のオリジナル画像データを直接処理することなくテキストに置き換えると好ましい。

【0019】又、前記複数のオブジェクトは文字列（STRING）データに対応する文字オブジェクトを含み、前記オブジェクト操作手段は前記オリジナル画像オブジェクトと文字オブジェクトを合成することが可能であり、前記操作情報には文字オブジェクトに対する操作を含むと好ましい。

【0020】更に、前記複数のオブジェクトは所定のテンプレートに対する第2の画像オブジェクトを含み、前記オブジェクト操作手段は第2の画像オブジェクトと前記オリジナル画像オブジェクト間のレイアウトを操作可能であり、前記操作情報は前記レイアウトに対応する操作内容をテキストデータとして含むと好ましい。を特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【0021】又、前記操作情報は画像オブジェクトを配置するためのレイアウト枠の種類、属性を含むと好ましい。

【0022】更に、前記プリント注文情報生成手段は、前記テキストデータを保存するフォルダに対応するパスを生成すると好ましい。

【0023】又、前記パス名はプリント注文情報をユニークに示す注文IDを含むと好ましい。尚、注文IDとは例えば注文を示す識別情報のことという。

【0024】更に、前記顧客の画像データと前記テキストデータは前記フォルダに格納されると好ましい。

【0025】又、前記アドレスおよび操作情報は前記テキストデータ上に所定のフォーマットで記述されると好ましい。

【0026】更に、前記アドレスおよび操作情報は前記テキストデータ上に予約語と共に記述されると好ましい。

【0027】又、前記テキストデータはテキストファイルとしてメモリに保存されると好ましい。

【0028】更に、前記プリント注文情報生成手段は、前記複数のオブジェクトの操作結果を示すサムネイル画像を生成し、前記テキストデータと対でメモリに保存されると好ましい。

【0029】又、前記プリント注文情報生成手段は、写真受付をした店舗に関する情報、顧客に関する情報、課金に関する情報、の少なくとも1つを含むテキストデータを生成すると好ましい。

【0030】更に、前記画像データ入力部はメモリスロットで構成され、顧客の画像データを格納したりムーバブルメディアから画像データを読みとると好ましい。

【0031】又、前記メモリは少なくとも顧客の画像データを記憶可能なメモリであり、該メモリ内には顧客の画像データと共に前記テキストデータを格納すると好ましい。

【0032】更に、前記プリント注文情報を格納したメモリはリムーバブルメディアであると好ましい。

【0033】又、前記プリント注文情報はデータ転送手段を介してメモリから外部へ転送可能であると好ましい。

10 【0034】更に、前記テキストデータは、回転、移動、拡大又は縮小の操作の少なくとも一つを制限または禁止するテキストデータをオブジェクト毎に含むと好ましい。

【0035】又、前記複数のオブジェクトは文字列（STRING）データに対応する文字オブジェクトを含むとともに、前記オブジェクトが文字オブジェクトの場合、オブジェクトの回転を禁止すると好ましい。

20 【0036】更に、前記プリント注文情報は、顧客を特定するデータ、店舗を特定するデータの少なくとも1つを含むと好ましい。

【0037】第2の本発明のプリント注文受付作成システムは、プリント注文受付器と、プリントを生成するための画像形成装置と、プリント注文受付器から画像形成装置間にプリント注文情報を送るためのデータ移動手段と、を有し、前記プリント注文受付器は、表示画面と、顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、メモリと、前記表示画面上で前記オリジナル画像データに対応するオリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成および編集することの可能なオブジェクト操作手段と、操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し、前記プリント注文情報生成手段は、操作されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、オリジナル画像オブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、前記メモリに保存し、また前記画像形成装置はプリント注文情報を受け取ると、前記プリント注文情報内の前記テキストデータに基づき、プリント注文受付器の操作結果に対応する画像をオリジナル画像に基づいて再現し、プリント作成を実行するので、例えば、前記プリント注文受付器のメモリから前記アドレスと前記テキストデータを読み出すことによって、前記プリント注文受付作成システムに対して容易に再注文を行うことができ、また前回の注文に対して一部変更することも容易にできるようになる。

【0038】更に、前記データ移動手段としてリムーバブルメディアを利用すると好ましい。

【0039】又、前記データ移動手段としてネットワークを利用すると好ましい。

50 【0040】第3の本発明のプリント注文データプロダ

クトは、顧客のプリント注文を特定する注文IDを有するフォルダと、前記フォルダ内に格納された顧客の注文するオリジナル画像データと、前記フォルダ内に格納され、オリジナル画像データに対応するオリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトに対する合成内容を示す編集データと、を有し、前記編集データはテキストデータであり、オリジナル画像データのアドレスに対応する第1のテキストデータと、前記複数のオブジェクトに対する合成のための操作を示す第2のテキストデータを対にして格納したテキストファイルであるので、前記オリジナル画像データと、前記編集データと、前記第1及び第2のテキストデータを読み出すことによって、容易に再注文を行うことができ、また前回の注文に対して一部変更することも容易にできるようになる。

【0041】更に、前記プリント注文データプロダクトはリムーバブルメディア、すなわち記憶媒体に記憶されると好ましい。

【0042】又、前記プリント注文データプロダクトはネットワーク上で転送可能であると好ましい。

【0043】更に、オーダー情報ファイル内の前記第2のテキストデータはオリジナル画像オブジェクトと他のオブジェクトの合成内容を指定するテキストデータを含むと好ましい。

【0044】又、他のオブジェクトはオリジナル画像を貼り付けるためのテンプレートに対応するオブジェクトである好ましい。

【0045】更に、前記第2のテキストデータはテンプレート内でオリジナル画像を配置するためのレイアウト枠に対する指定情報を含むと好ましい。

【0046】又、レイアウト枠に対する指定情報は、レイアウト枠自体の種類、位置、サイズ、形状の少なくとも一つを含むと好ましい。

【0047】更に、前記第2のテキストデータは前記レイアウト枠に対するオリジナル画像オブジェクトの位置情報を含むと好ましい。

【0048】又、他のオブジェクトは文字列に対応する文字オブジェクトであると好ましい。

【0049】更に、前記フォルダは文字に対応する文字データを含み、前記テキストファイルは前記文字データに対応するアドレスを第3のテキストデータとして保持すると好ましい。

【0050】又、前記第2のテキストデータはオブジェクトの回転角度、拡大率の少なくとも1つに対応すると好ましい。

【0051】更に、前記注文IDは顧客、店舗、受付日時の少なくとも一つを特定するデータにより生成されると好ましい。

【0052】又、前記注文IDはプリントが未了か否かを示す識別子を含むと好ましい。

【0053】更に、前記フォルダはさらにテンプレート

画像に対応する識別データを含み、前記識別データは前記オリジナル画像オブジェクトと対になったテキストデータとして記憶されると好ましい。

【0054】又、前記フォルダはさらに合成結果に対応したサムネイル画像データを格納し、サムネイル画像データはオリジナル画像データを間引きした画像データに基づき生成された画像データであると好ましい。

【0055】更に、前記フォルダはさらに顧客を特定するデータ、店舗を特定するデータの少なくとも1つを含むと好ましい。

【0056】又、前記フォルダはさらに日時に関するデータを含むと好ましい。

【0057】更に、前記フォルダはさらに顧客毎のパスワードに関するデータを含むと好ましい。

【0058】又、前記テキストファイルは、回転、移動、拡大又は縮小の操作の少なくとも一つを制限または禁止するテキストデータをオブジェクト毎に含むと好ましい。

【0059】更に、前記フォルダはさらにプリントを行う記録媒体種に関するデータを含むと好ましい。

【0060】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態を参照して本発明を説明する。図1は、本実施の形態にかかるプリント注文受付器の上面図である。図1において、プリント注文受付器10は矩形板状であって、上面に表示画面を備えたタッチパネル式の液晶画面11を有し、側面(図1の下側)に電源スイッチ21を有している。液晶画面11を介しての入力は、画面に表示されるポインタを駆動する不図示のマウスを介しておこなうことができる。

30 又、プリント注文受付器10は、対向する側面(図1の上側)に2つの開口12、13を形成している。開口12、13内には、それぞれデータの読み取り装置14及び読み取り・書き込み装置15が装着されている。

【0061】開口12は、デジタルカメラによって撮像された画像に対応する画像データが記憶されているリムーバブルメディアC、例えばPCカードを受け入れ自在となっており、開口13は、記憶手段又は記憶媒体としてのリムーバブルメディアM、例えばPCカードを受け入れ自在となっている。リムーバブルメディアMは、リムーバブルメディアCよりも、それぞれが記憶しているデータがない、つまり空の状態での記憶容量が大きいことが好ましい。尚、リムーバブルメディアC、Mは、ここに示したPCカード、ICカードに限られず、光磁気ディスクやDVD-RAM、CD-Rのように色々な記憶メディアが使用可能である。

【0062】図2は、本実施の形態にかかるプリント注文受付器10の動作を説明する図である。図2において、プリント注文受付器10は、開口12に挿入されたリムーバブルメディアCから画像データを読み取り可能な読み取り装置14と、開口13に挿入されたリムーバブル

メディアMに画像データ及び後述するプリント注文情報を記憶可能な読み取り・書き込み装置15と、これらに連結された制御部を有する。制御部はプログラムを実行するためのCPU16を有しており、このプログラムはフラッシュメモリ(不図示)に記憶することができる。また制御部にはデータを一時的に記憶するためのSDRAM(不図示)が含まれている。フラッシュメモリはCPU16に対して着脱可能に構成することも可能であるが、固定的に配置することも可能である。またこのフラッシュメモリを交換あるいは書き換えることでプログラムをアップデートすることも可能である。CPU16は、タッチパネル式の液晶画面11から入力された所定の情報を処理可能であると共に、不図示のドライバをして液晶画面11に所定の画像を表示可能となっている。

【0063】プリント注文受付器10は、CPU16が印字プリンタ19に印字データを送信するためにRS-232CやUSB(Universal Serial Bus)などのインターフェース17を有する。これは後に顧客がプリント注文情報作成時に確認用の伝票を印刷したりするのに利用できる。そして、外部の画像形成装置20にオーダ情報を送信するためには、10BASE-Tや100BASE-TXなどで通信するための端子(インターフェース18)を有している。そのため

ダイアルアップルータなどのWAN接続用機器を用いてインターネットNTに接続し、サーバ30にプリント注文情報を送ることが可能である。サーバ30では送られたプリント注文情報を元にプリント用データを作成し、画像形成装置20からプリント用データを参照することによりプリントを行うことができる。

【0064】以下に、本実施の形態にかかるプリント注文受付器10の仕様を説明する。

CPU: VR4310 (167MHz) または、VR5432 (167MHz)

メモリ: SDRAM、64MBYTE

フラッシュメモリ、28MBYTE

表示関係: LCD、12.1インチTFTカラーLCDパネル

V RAM、UMA方式(メインメモリを使用)

解像度/色数、600×800

65,536色(16bit)表示

LED、2色(赤/緑) LED 4個搭載

操作部: タッチパネル、抵抗膜式アナログタッチパネル

電気分解能、10bit (1024×1024)

汎用スイッチ、左右 Up/Down

時計: 年時月分秒と114バイト汎用SRAM

リチウム電池+スーパーキャパシタによるバックアップ

外部インターフェース: PCMCIA、Type IIスロットを2個搭載

Serial、D-sub9pinコネクタを2個搭載 50

USB、USBコネクタを1個搭載

IrDA、IrDA送受信モジュールを1個搭載

10BASE-T、10BASE-Tコネクタを1個搭載

電源: 供給電源、DC19V ACアダプタより供給
消費電力、40W以下

外形: 252mm×316.7mm×30mm

重量: 1600g (ACアダプタを含ます)

【0065】図3は、本実施の形態にかかるプリント作成装置(画像形成装置)の斜視図である。ここでは、ラボなどに設置される画像形成装置の一例としてのプリント作成装置20は、感光材料に露光して現像し、プリントを作成するものが例示されているが、これに限らず、画像情報に基づいてプリントを作成できるものであればよく、例えば、インクジェット方式、電子写真方式のプリント作成装置であってもよいが、特にこの発明では感光材料を用いる方式が好ましい。

【0066】この実施の形態のプリント作成装置20は、本体202の左側面にマガジン装填部203を備えている。本体202内には記憶媒体である感光材料に露光する露光処理部204と、露光された感光材料を現像処理して乾燥し、プリントを作成するプリント作成部205が備えられ、作成されたプリントは本体202の右側面に設けられたトレー206に排出される。さらに、本体202の内部には、露光処理部204の上方位置に制御部207が備えられている。

【0067】また、本体202の上部には、CRT208が配置されている。このCRT208がプリントを作成しようとする画像情報の画像を画面に表示する表示手段を構成している。CRT208の左側に、透過原稿を読み込む画像読取部であるところのフィルムスキャナ部209が配置され、右側に反射原稿入力装置210が配置されている。

【0068】フィルムスキャナ部209や反射原稿入力装置210から読み込まれる原稿として写真感光材料があり、この写真感光材料としては、カラーネガフィルム、カラーリバーサルフィルム、白黒ネガフィルム、白黒リバーサルフィルム等が挙げられ、アナログカメラにより撮像した画像データが記憶される。フィルムスキャナ部209のフィルムスキャナーでデジタル情報に変換し、画像データとすることができる。また、写真感光材料がカラーペーパーの場合、反射原稿入力装置210のフラットベットスキャナーで画像データにすることができる。

【0069】また、本体202の制御部207の位置には、画像転送部214が設けられている。画像転送部214には、上述したリムーブルメディアM(PCカード)の他、画像データを記憶しているICカード213aやフロッピー(登録商標)ディスク213bなども差し込み可能になっており、差し込まれた記憶媒体の画像

データ等が読み出される。

【0070】CRT208の前側に操作部211が配置され、この操作部211に情報入力手段212が設けられ、情報入力手段212は、例えばタッチパネル等で構成される。

【0071】また、本体202には、記憶メディア書き込み部215が設けられ、画像データを有するリムーバブルメディアM等から、画像データを出しプリントを作成する際に、記憶媒体中の画像データを磁気記憶メディア、光記憶メディア等に書き込む書き込み手段K(図4)が設けられている。

【0072】画像データ記憶する記憶媒体として、具体的には、マルチメディアカード、メモリーステック、MD、CD-ROM等のリムーバブルメディアが挙げられるが、これらに限られない。

【0073】なお、操作部211、CRT208、フィルムスキャナ部209、反射原稿入力装置210、画像転送部214及び記憶メディア書き込み部215は、本体202に一体的に設けられて装置の構造となっているが、いずれか1つ以上を別体として設けてもよい。

【0074】図4は、プリント作成装置の構成を示すブロック図である。

【0075】プリント作成装置20の制御部207は、情報入力手段212からの指令情報に基づき、フィルムスキャナ部209や反射原稿入力装置210からの原稿情報の読み込みを行い、画像情報を得てCRT208に表示する。

【0076】また、プリント作成装置20は、データ蓄積手段271及びテンプレート記憶手段272を有する。データ蓄積手段271に、リムーバブルメディアMから読み込んだ画像データと、それに対応するプリント注文情報(どの駒の画像から何枚プリントを作成するかの情報、プリントサイズの情報等、詳しくは後述する。)とを記憶し順次蓄積することができる。フィルムスキャナ部209からは、アナログカメラにより撮像されたネガフィルムを現像して得られる現像済のネガフィルムNからの駒画像が入力され、反射原稿入力装置210からは駒画像を印画紙に焼き付けて現像処理したプリントPからの駒画像が入力される。

【0077】テンプレート記憶手段272は、背景画像と合成領域を設定する少なくとも1個のテンプレート画像のデータと、それに対応する番号にかかるデータが予め記憶されている。オペレータの操作により、又はプリント注文情報に含まれたテンプレート画像の番号に基づいて、テンプレート記憶手段272に予め記憶された複数のテンプレート画像から所定のテンプレート画像が特定され、画像データは選択されたテンプレート画像により合成されて、合成された画像データに基づきプリントが作成される。このテンプレート画像による合成は、周知のクロマキー法によって行なわれる。

【0078】また、制御部207は、画像処理部270を有し、この画像処理部270で画像情報を画像処理して露光用画像情報を形成し、露光処理部204に送る。露光処理部204では、感光材料に画像の露光が行われ、この感光材料をプリント作成部205に送り、プリント作成部205で露光された感光材料を現像処理して乾燥しプリントを作成する。

【0079】このプリント作成装置20の画像転送部214には、リムーバブルメディアM等の画像データ等を読み出して転送する読み取手段230と、プリント受付器10と通信可能な通信手段240とが備えられている。読み取手段230は、画像転送部214に差し込まれたリムーバブルメディアMから、記憶された画像データを読み取り、マイクロコンピュータで構成される制御部207へ転送することができる。一方、通信手段240は、インターネットNTなどを介してプリント受付器10と通信し、画像データなどを入力可能となっている。

【0080】このプリント作成装置20では、リムーバブルメディアMに記憶された画像データと、これに対応づけて記憶されたプリント注文情報とに基づいて、通常のプリントP1、ファイルプリントP2及びインデックスプリントP3を行うことができる。

【0081】通常のプリントP1は、1個の画像データを1枚のプリントとして作成するものである。この通常のプリントP1で、例えば所定の模様を有する背景画像(テンプレート画像)に所定の合成領域を設定し、この合成領域に1個の駒画像を合成して記憶され、フォトフレームで飾った通常のプリントサイズのプリントP1を作成することができる。このように1個の画像データを1枚のプリントP1に記憶することで、例えばポストカードやカレンダー、又は顧客の注文に応じて財布や定期等に入れたりすることが可能な好みの特殊プリントを作成することができる。

【0082】また、ファイルプリントP2は、複数の駒画像を1枚の大判ファイルとして作成するものである。このファイルプリントP2でも例えば、所定の模様を有する背景画像に、例えば3箇所～10箇所に合成領域を設定し、この3箇所の合成領域にそれぞれ1個の駒画像が合成して記憶するようにしてもよい。また、ファイルプリントP2では、背景の中に切り取り線を記憶してもよく、この切り取り線によって容易に、かつ奇麗に切断して財布や定期等に入れたりすることが可能な好みの特殊プリントを作成することができる。画像の合成は、後述するようにプリント注文受付器10で行うことが出来る。

【0083】インデックスプリントP3は、再度のプリント注文等に便利なように所定のサイズに画像データに基づき、全ての画像を1枚のプリントとして作成するものである。

【0084】このプリント作成装置において、現像済み

ネガフィルムまたは現像済みリバーサルフィルムの画像をプリントするには、これらをフィルムスキャナ部209のフィルムスキャナーによりスキャンして、デジタル情報に変換したのち、制御部207を介して同様にプリントを作成できるようになっている。

【0085】まず、簡単に作業の流れを説明すると、図12に示すように顧客はプリント注文情報の作成を行う(図12のステップS101)。この作成は本実施例においてはプリント注文受付器を用いて行うがインターネット接続されたパーソナルコンピュータを用いて作成しても構わず、その形態にとらわれるわけではない。

【0086】インターネットなどのWANを用いるような場合、作成されたプリント注文情報は送信（図12のステップS102）され、店舗側で受信され（図12のステップS103）、サーバに記憶される。店舗ではサーバに記憶された情報からプリントを作成し（図12のステップS104）、顧客に対して配達する（図12のステップS105）。なお、店頭で作成してその場でプリントを行う場合などは図12の括弧で囲われた部分（ステップS102、S103）は不要で、配信ではなくその場で受け渡しが成立する。

【0087】次に、本実施の形態にかかるプリント注文受付器の動作について、図1、2を参照して説明する。本実施の形態にかかるプリント注文受付器10は、画像データに基づいて画像を高精度に形成できる画像形成装置を有しないプリント取次店やコンビニエンスストア（以下、取次店Aとする）などに設置されると好ましい。プリントを所望する顧客は、自己のデジタルカメラで撮像した画像に対応する画像データを記憶したリムーバブルメディアCを、取次店Aに持参する。尚、リムーバブルメディアとしては、画像データを記憶可能な、可搬的な記憶媒体であれば、その種類は問わない。また、プリント注文に関する操作は、取次店Aの作業者が行っても良いが、本実施の形態においては顧客（画像編集者という）自ら行うものとする。

【0088】図13を用いてプリント注文受付器を用いたプリント注文作成に関する手順について説明する。プリント注文に際し、顧客が、プリント注文受付器10の電源スイッチ21を投入すると(図13のステップS201)、注文情報を作成するためのプログラムが起動され、動作可能状態となり、まず液晶画面11に初期画面を表示する。

【0089】ここで、顧客が、リムーバブルメディアとしてのリムーバブルメディアCを、プリント注文受付器10の開口12に挿入すると(図13のステップS202)、リムーバブルメディアCが画像データを読み取り可能に位置に固定されたことを、不図示のセンサが検出し、読み取り可能信号を送信する。かかる読み取り可能信号に応動して、読み取り装置12は、リムーバブルメディアCに記憶された画像データを読み出す(図13のステ

18

ップS 203)。CPU16は、読み出された画像データをまずリムーバブルメディアMに記憶し、更に読み出された画像データに基づいて、リムーバブルメディアCに記憶された画像データに対応する全ての画像を、インデックス的に液晶画面11の1画面上に表示することができる(図13のステップS204)。

【0090】リムーバブルメディアCに、同一の画像に対して、フルサイズの画像データと、フルサイズの画像データよりもデータ量の小さいサムネイル画像データとが記憶されている場合は、かかるインデックス表示においては、サムネイル画像データに基づいて、画像が表示されることとなる。また、データ量の小さい画像データが記憶されていない場合には、読み出されたフルサイズの画像データからデータ量の小さい画像データを生成して、インデックス表示するようにしても良い。

【0091】かかる表示を見た顧客は、プリントを所望する画像を、液晶画面11の画面を押压することによって選択する(図13のステップS205)。かかる場合、液晶画面11において押压された画像については、

CPU16が、例えばその枠の色を変えるようにすれば、どの画像が選択されたか一目でわかり便利である。

【0092】選択が終了すれば、顧客が、液晶画面11の右下に表示された「NEXT」ボタン11a(図5参照)を押すことによって、CPU16は、図5に示すように、記憶されたテンプレート画像(精細なテンプレート画像に係る画像データを間引いたもの、以下間引き画像データとする)と、対応する番号とをインデックス的に表示する(図13のステップS206)。かかる表示を見た顧客は、被写体画像と合成を所望するテンプレート画像を、液晶画面11の画面を押すことによって選択する(図13のステップS207)。かかる場合、液晶画面11において押された画像については、CPU16が、例えばその枠の色を変えるようにすれば、どの画像が選択されたか一目でわかり便利である。尚、合成を所望しない場合には、テンプレート画像と合成しないことを指示する番号9を押せばよい。

【0093】選択が終了すれば、顧客が、液晶画面11の右下に表示された「NEXT」ボタン11aを押圧することによって、CPU16は、被写体画像のサムネイル画像データと、間引き画像データとを合成して、その合成データに基づき、図6に示すように合成画像を液晶画面11に表示させる。

【0094】ここで、画像合成の様態について説明する（図13のステップS208）。図7は、表示画面としての液晶画面11の、画像編集時における表示態様の一例を示した図である。図7において、矩形上の変種領域11b内において、編集される名刺C dが、枠W cにより囲われて表示されている。かかる名刺C dの柄は、図5のように予め記憶されているうちの一つを選択できる。

【0095】名刺C dの中には、左方に表示された選択可能な画像のうち、編集を所望する画像オブジェクトとしての画像G 1が選択されて挿入されている。画像G 1の周囲には、額縁のごとき枠W gが表示されている。尚、点線（実際には表示されない）で示すように、オリジナルの画像G 1は、枠W gより大きくなってしまっており、枠W gにくり抜かれた画像G 1のみが表示されるようになっている。

【0096】ここで、画像編集者が、枠W gの位置は適切であるが、画像G 1のくりぬき位置が不適切であると判断した場合には、変種領域11 bの右上のアイコン（第2のアイコン）A 1をクリックすることができる。それにより、プログラムを格納した記録媒体としてのCPU 16は、かかるプログラムに基づいて、枠W gの中に表示された画像G 1のみ編集するモードを設定する。かかるモードにおいては、枠W gの位置は固定したまま、画像編集者による画像移動ボタンB 1の操作もしくは不図示のマウスによるドラッグに応じて、画像G 1を任意に移動させるなどの編集を行うことが出来る。

【0097】一方、画像編集者が、画像G 1のくりぬき位置は適切であるが、枠W gの位置が不適切であると判断した場合には、変種領域11 bの右上のアイコンA 2をクリックすることができる。それによりCPU 16は、プログラムに基づいて、枠W gと画像G 1とを一体的に編集するモードを設定する。かかるモードにおいては、画像編集者による画像移動ボタンB 1の操作もしくは不図示のマウスによるドラッグに応じて、画像G 1と枠W gとを一体的に、任意の位置へと移動させるなどの編集を行うことが出来る。

【0098】尚、枠とは矩形に限らず、円形、楕円形、多角形その他の形状を含み、変種領域11 bに表示されないものも含む。又、アイコンA 1、A 2をクリックする代わりに、ポインタPを枠W g内に移動させてクリックすることにより、画像G 1の単独編集を行うモードを設定し、一方、ポインタPを枠W g外に移動させてクリックすることにより、枠W gと画像G 1の一体編集を行うモードを設定するようにしても良い。更に、上記の例では、編集の一例として移動を上げたが、アイコンA 3に基づく縮小や、アイコンA 4に基づく拡大、もしくはアイコンA 5～A 7に基づく回転などの編集も適宜行うことが出来、それにより編集効率を向上させることが出来る。

【0099】図8は、液晶画面11の別な表示態様を示す図である。図8において、画像編集者は、自分の住所の画像A Dを名刺C dの右下に挿入したものとする。ここで、本実施の形態においては、文字コードなど文字情報に基づき形成された文字としての住所の画像A Dは、回転、拡大、縮小ができず、移動だけが可能であるとする。

【0100】かかる場合、CPU 16は、画像編集者が

住所の画像A D（点線で囲まれた枠内）をクリックしたことにより、図8に示す如く、アイコンA 3～A 7（図7）を非表示とし、それにより住所の画像A Dの回転、拡大、縮小を禁止すると共に、それらを行えないことを画像編集者に認識させるようにし、もって編集効率を向上させている。尚、ボタンB 1は液晶画面11に表示されており、それにより画像編集者は、住所の画像A Dが任意の位置へと移動可能であることが判る。

【0101】回転、移動、拡大、変更などの編集を禁止する画像データは、CPU 16が、例えばデータの拡張子（例えばテキストデータ）から判断するか、画像編集者によって指定された画像データが記憶されているファイルから判断するなど、様々な態様が考えられる。

【0102】尚、アイコンA 3～A 7を非表示とする代わりに、図7に示す如く表示させた上で、画像編集者がクリックしても反応しないようにし、それにより住所の画像A Dの回転、拡大、縮小を行えないことを、画像編集者に認識させるようにしても良い。又、住所の画像A DがカードCに対して殆どを占めるようなときは、ボタンB 1も非表示として、住所の画像A Dの移動も行えないことを、画像編集者に認識させても良い。

【0103】合成画像を確認し画像編集が終了した後は、後述する顧客情報、注文情報、店舗情報、プリント情報を必要に応じて適宜入力または確認を行って、プリント注文情報を確定する（図13のステップS 209）。その後、プリント注文受付器10からインターネットNTを介してプリント注文情報を画像形成装置20に送信されても良いし（図13のステップS 213）、このプリント注文受付器10が接続しているLAN内（例えば取り次ぎ店内）に画像形成装置が接続されているよう（図13のステップS 211）であれば、もちろんそのままプリント処理を行っても良い（図13のステップS 212）。この場合、すぐに顧客に引き渡すことも可能である（図13のステップS 214）。

【0104】もちろんLANを経由せず、リムーバルメディアMに記憶して、リムーバルメディアMを画像形成装置20の読み取り手段230に差して、プリント出力を行っても良い。

【0105】プリント注文情報を送信する手段としてはE-mailのようにsmtpを用いたものを利用しても良いし、ftpやhttpなどを利用してもよく、その手段にはとらわれない。店舗間の接続形態に関しては、“SHOP INF”で後述する。

【0106】これらの作業に並行してプリント注文情報の保存が行われる（図13のステップS 210）。プリント注文情報の保存はCPU 16内のSDRAMに一時的に記憶しても良いし、リムーバルメディアCに記憶してもよく、プリント情報データが記憶可能なものであればメディアの種類を特に問うことはない。

【0107】ここでリムーバルメディアCに記憶された

場合、顧客は再度注文を行う場合に、バックアップされた情報をもとに同じ注文、または別の注文を作ることが可能であり、特に後述するように顧客情報や店舗情報などの変化がほとんどないものには有効である。

【0108】なお、本実施例ではプリント注文受付器10を用いて説明しているが、これはあくまでも機能上の説明のためであって、パーソナルコンピュータとして一般的に知られているような機器を用いてもよく、このような場合にはこのパーソナルコンピュータに接続されているハードディスク内にプリント注文情報を記憶することで恒久的に保存することが可能となる。

【0109】図9(a)、(b)は作成されるプリント注文情報の構成図である。図9(a)、(b)において、プリント注文情報ごとにプリントに必要な情報ファイルを含むフォルダを作成する。この例で、プリント注文情報をユニークに指示する注文IDを定義、生成しフォルダ名として使用する。識別子ordはまだプリントが未了であることを示し、もし、画像形成装置20によりプリントが行われた場合は識別子を001などのように書き換えるとプリントの状態をシステムのデータベース上ではなく、実データとして検索できるため便利である。

【0110】図9(a)ではプリント注文情報を示すフォルダ、2000221001001.ord(例)内に画像データを格納するIMAGEフォルダ、プリント条件を格納するMISCフォルダ、サムネイル画像を格納するMERGEフォルダ、文字データを格納するCAPTIONフォルダ、プリントレイアウト情報に関わるPRINTフォルダが作成される。図(b)も同様にプリント注文情報のデータ構造を示す図である。フォルダである注文ID、ord内にプリント条件を格納するMISCフォルダ、画像の合成、編集に係るレイアウト情報を格納するLAYOUTフォルダ、文字データを格納するTEXTフォルダ、画像データを格納するIMAGEフォルダ、サムネイル画像を格納するMERGEフォルダを有している。

【0111】以後は図9(b)をもとに詳細を説明する。注文IDは例えば図10(上)に示すような形態で生成することができる。ここでjp0000rfは顧客IDを示し、この中で特に先頭の2桁jpは国別コードを表し、以下の桁の0000rfで登録番号を示している。ここで登録番号は単純に数字だけではなく、アルファベットも使って表現できるため、顧客数の増大に対応できる。

【0112】次に顧客IDと同じ考え方で店舗IDをつけ、店舗などのプリント処理においてはその店舗内の機種を限定するコード(機種番号)を記述し連結する。

【0113】さらにオーダ(注文)を確定した時間の西暦、月、日、時、分、秒をつなげ、同一時間に複数のオ

ーダが作成されても認識できるようにシーケンシャルな3桁の番号を与える。

【0114】このようにすることでユーザ側で注文IDを生成させても、サーバ30または画像形成装置20で注文IDを付けるよりも早く顧客に注文IDをフィードバックすることが可能となる。

【0115】このような形態は図11に示すように複数の店舗からのプリント注文情報を店舗より少ない生産拠点(図中は一店)で引き受ける場合に特に有効である。

【0116】なお、上記のIDを生成する際の連結項目に関しては運用の方法によって取捨選択することが可能である。又ある顧客を通常は氏名、住所、電話番号などを使用して認識する必要がある。一方顧客IDは簡易に顧客を認識するためのIDで、店舗ID単位で顧客登録を行うのであれば最低限、その店舗IDに対してユニークでなければならない。なお、後述する親店舗に対してユニークであればより好ましい。

【0117】ただし、このような方法で生成した注文IDは全世界的にユニークな番号が与えられ、データベースの管理には向いている反面、桁数が多く、注文問い合わせの場合に、正確な番号の伝達が困難となることがある。そのため、図10(下)に示すように便宜的に店舗IDと合わせて11桁程度に済むような、一時的な管理のための生産管理IDとして発行するようにしてもよい。なお、ここで特に11桁にこだわる必要は無いことは言うまでもなく、扱いやすい方法で扱えば良い。この生産管理IDはシーケンシャルに付けられるものであり、いつかは飽和するがあくまでも仮のものであり、この場合はまた最初(例えば001)から始めれば良い。

【0118】図9(b)に示される“注文ID”フォルダ内の構成を説明する。図8の名刺Cdを例にした場合、ここで使用されたオリジナル画像オブジェクトが図9の“IMAGE”フォルダ内にimage0001.bmpとして記憶される。

【0119】ここで図9ではimage0001.*として記述されているが、***は例えばこのアプリケーション内で認識可能な画像形式名でWindows95(Microsoft社製)ではjpeg形式であれば“jpg”、ピットマップ形式であれば“bmp”などのように決められる。使用されるオリジナル画像オブジェクトが複数ある場合はimage0002.jpgなどのように数字を増やしていくことで対応ができる。

【0120】図8中で用いられた住所や氏名のデータはそのフォント名、文字サイズ、文字色、書式、配列方向やなどを含んだ編集条件を文字オブジェクトとして図9の“TEXT”フォルダ内にtext0001.txtとして記憶される。これは領域ごとに定義され、順にtext0002.txtなどのように増やしていくことができる。

【0121】“MISC”フォルダにはファイルorder.txt、order2.txtが記憶される。ここでorder.txtは基本的にキャノン（株）[CANON INC.]、イーストマン・コダック社[Eastman Kodak Company]、富士写真フィルム（株）[Fuji Photo Film Co., Ltd.]、松下電器産業（株）[Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.]により共同で制定されているDPOF(Digital Print Order Format)ver.1.0に準じた形式で記述される。

【0122】DPOFではプリントを自動化する対象となるタグが記述されているが、本発明のような編集には対応していない。

【0123】それに対し、order2.txtは主に生産管理上の問題として有効な部分をまとめて拡張オーダ情報ファイル（後述）として記述することができるファイルである。これによって、プリント生産上の効率化を図ることを可能とした。

【0124】さらに“MERGE”フォルダ内にはサムネイル画像が保存される。ここで保存されるサムネイルは単純に原画像を縮小したものではない。端末上で顧客が確認した間引き画像による合成画像であり、非常にコンパクトなデータサイズとすることができますと共に、注文に際して顧客が確認したものをプリント時にもそのまま簡易に確認することを可能としている。

【0125】拡張オーダ情報ファイル(order2.txt)は顧客情報である“USER INF”、店舗情報である“SHOP INF”、注文情報である“ORDER INF”、プリント情報である“PRINT INF”、“生産管理情報である”STATUS INF”で構成されている。

【0126】これらのデータ構造を図15(a)に示す。[USER INF] “USER INF”では注文ID、顧客ID、パスワード、顧客郵便番号、顧客住所、顧客電話番号、顧客氏名、DB変更フラグで構成され、注文ID、顧客IDは前述のものをそのまま記述する。

【0127】パスワードは顧客が自分の情報をインターネット経由などで認証するのに必要な情報で、ここでは暗号化して記入することにより、テキスト文章がもし他人に洩れるようなことがあっても顧客の情報を保護することが可能となる。このなかでパスワードを記述するメリットとしては送られたプリント注文情報を認証する手段として用いることが可能である（パスワードに記述誤りがあるときは注文を受けない）。

【0128】顧客郵便番号、顧客住所、顧客電話番号、顧客氏名は顧客の情報を特定するものであり、連絡先情報や顧客を特定するのに使用される。顧客の特定は費用決済などを行う上で重要な情報となる。ただし、本来顧

客IDが記載されていればこの内容は不要であるが、ファイルを見ただけで顧客名がわかるなどの便宜性や、後述するDB変更フラグが利用できるなどのメリットがある。

【0129】DB変更フラグは顧客のデータベースに登録されている情報をこのプリント注文情報を以て、修正したいときに利用される。

【0130】[SHOP INF] “SHOP INF”では受付店名、受付店電話番号、受付店ID、受取店ID、受取店名、親店舗ID、親店舗名を記述している。ここで親店舗、受付店、受取店の関係を図11を用いて説明する。ここであるチェーン店形式の写真店Xを考えた場合、その本店Aを親店舗と定義し、この実施例では画像形成装置を設置した生産拠点として定義している。

【0131】それに対してプリント注文受付器を設置した店舗BからFでは画像形成装置は持つ必要はなく、そのため、ドラッグストアや、コンビニエンスショップのようなところにも設置することができる。受付店とは例えば顧客が店舗Bを訪れてプリントの発注を行えばそこが受付店として定義される。前記顧客がそのままB店でできあがったプリントを受け取れば店舗Bが受取店となるが、顧客の勤務先の近くである店舗Cで受け取りたいとすれば店舗Cが受取店となる。

【0132】このなかで店舗BからEはルータを介してインターネットに接続しており、プリント注文受付器と接続した通信手段によりプリント注文情報を送信することが可能であり、店舗Fは通信手段を持たないため、プリント注文受付器によって作成されたプリント注文情報を記憶したメディアを集めることでプリントを依頼することができる。

【0133】なお、顧客は家庭からもプリント注文情報を生成するプログラムによりパーソナルコンピュータを用いてプリント注文情報を生成してプリントを依頼することができるが、このような場合には受付店として親店舗を受付店としてもいいし、普段通う店舗があればその店舗（例えば店舗D）を受付店として指定しても良い。なおこの時プログラムはパーソナルコンピュータ上のディスクに格納することも可能であるが、インターネットNTを介してサーバ上で提供される画面（汎用wwwブラウザで閲覧）に対して操作を行いサーバ上でプリント注文情報を生成するプログラムを実行することも可能である。受取店は店頭受取を指定すれば店舗Cを指定して受け取ることが可能で、郵送を希望した場合は特に受取店は指定されない。

【0134】ここで、データベース上で各店舗を簡易的に表すためや、注文IDの生成のため、各店舗にはIDが付与されており、親店舗であれば親店舗ID、顧客の受付を行った店舗であれば受付店ID、受取を指定した店であれば受取店IDとして記述される。

【0135】[ORDER INF]"ORDERINF"では送信元種別、受付番号、注文時間、サービス種、デザイン番号、記録媒体種、持ち込み数、合計料金、料金種、料金種料金、受取方法、決済方法、オーダ受付日時、仕上がり予定日時、仕上がり日時、希望配達日時を記述している。

【0136】ここで送信元種別はどのようなシステムから送られてくるかを判別するもので、プリント注文受付器11からのもの、パーソナルコンピュータ上のソフトウェアを用いたもの、インターネットのブラウザ上で作成したものなどの種別を記載する。

【0137】受付番号はその店舗として受け取った順番に番号を付与していく。

【0138】注文時間は顧客がプリント注文情報を確定した時間か、送信処理を行った場合には送信を行った時間を記述する。

【0139】サービス種は名刺、ポストカード、グリーティングカード、カレンダなど作成されるものを表す。

【0140】デザイン番号はメーカなどから供給されたテンプレートを使用して上記サービス種のものを作成した場合、そのテンプレートにIDが定義されているため、そのIDを特定する情報を記載する。

【0141】記録媒体種とはポストカード、マグカップ、Tシャツなど顧客が画像形成を行いたいメディアを示し、このようなものの場合、顧客が自分で指定したものを持ち込んで作成を行うことも可能なため、持ち込みがあればその数量を記載する。

【0142】合計料金は今回のプリント注文情報を発注するに当たって発生する全ての顧客負担分の費用を記載する。

【0143】料金種はプリント代、撮影代、衣装代、送料、手数料、はがき代など費用発生する細目を示し、料金種料金でそれぞれの料金種でかかった費用が記載される。

【0144】受取方法は店頭で受け取る、宅配にするなどを記述する。

【0145】決済方法は店頭支払い、クレジットカード、銀行振り込み、代引き郵便を使用するなど料金の支払方法を記載する。なお、クレジットカードを使用する際、この中に暗号化してクレジットカード番号を記述しても構わないが、顧客IDを登録する際にクレジットカードを登録しておき、後はネットワーク等を通じてこのような番号を流さないのがセキュリティ上好ましい。

【0146】オーダ受付日時はプリント注文情報を確定し、確定したプリント注文情報を生産側で受け取った時間で、店頭処理であればレンダリングを行った時間であり、送信であればサーバ30が受信を完了した時間である。

【0147】仕上がり予定日時については、プリント注文情報を作成する際に顧客に通知している仕上がり予定

日時で、仕上がり日時は現実に仕上がった日時を記載する。

【0148】希望配達日時は宅配などの場合、顧客は希望配達日時を指定することも可能でその時間を記載する。

【0149】[PRINT INF]"PRINT INF"ではプリント枚数、プリントサイズ名称、プリントサイズ幅、プリントサイズ長さ、面質が記述されている。

10 【0150】ここでプリント枚数はプリントを行う枚数を記述し、プリントサイズ名称はこのサービスが提供されている範囲内でのプリントサイズの種類を直接表すような名称を記述し、たとえばL判や、KG判、A4などのように記述される。

【0151】プリントサイズ幅はプリントの幅をmm単位で表し、プリントサイズ長さも同様である。

【0152】画質は光沢や、シルクのようにプリント面での性質を表すようなものを記述する。

20 【0153】[STATUS INF]"STATUS INF"では生産用ID、注文フォルダパス、バックアップフォルダパス、プリントフォルダパス、オーダ確定、レンダリング状況、プリント準備状況、テストプリント状態、プリント状況、最終処理日時、出力先画像形成装置、送信状況、注文タイプ、備考、ステータス通知メールフラグを有する。

【0154】この項目は通常顧客側で使用することはなく、画像形成装置が置かれる拠点で受け取ったプリント注文データの処理状況を追跡するのに使用する。

30 【0155】オーダ確定とは課金に関する情報も含め、プリント処理を行っても問題ない状態にあるかを示す。レンダリング状況は画像が本画像を用いてレンダリング処理を行ったか行ってないかの状態を示す。

【0156】プリント準備状況は画像形成装置20でプリント用紙など必要な準備が整ったかを示す。

【0157】テストプリント状態ではテストプリントが行われたかを示している。

【0158】プリント状況では本番のプリントが行われたかを示す。

40 【0159】最終処理日時は最終的に現像所から出せる状態(出荷)になった日時を示す。

【0160】出力先画像形成装置では画像形成装置20が複数存在したり、インクジェットプリンタなど異なった形態の画像形成装置を用いるかなどを示す。これは特に特定がない場合は"PRINT INF"の内容を確認した上で自動的に選択される。

【0161】また、"LAYOUT"フォルダのファイル"layout.tq1"には編集に際しての画像のレイアウトに関する情報が記述される。このファイルには、プリント対象の媒体を示すmedia data [媒体情報]、テンプレート内などで画像データ、文字

データ等を貼り付ける枠に関する layout frame data [レイアウト枠情報]、layout frame data に記述されているレイアウト枠間の関係を示す group data [グループ情報]、画像、文字データに対する編集、合成情報等を示す object data [オブジェクト情報] が記述されている。具体的なデータ構造は図 15 (b) に示される。

【0162】 [媒体情報] 媒体情報としては、作成されるプリントのサイズと画像割付方法、必要枚数が記憶さ
れる。

【0163】ここでサイズは前述の" PRINT IN F"で記述したプリントサイズ長さとプリントサイズ幅、プリント枚数と同一のものを用いるが、画像割付方法とは画像をプリントする際に必ずしも画像データの縦横比とプリントサイズ縦横比が同一とは限らない場合があり、このような場合には出来上がったプリントに白地が残ないように画像が一部欠けても良いようにプリントする方法と、白地が入っても画像データが全て入るよう¹⁰に調整する、例え縦横比が同一であったとしてもプリントサイズに応じた画像データの拡大縮小処理を一切行わない、わざと付ける白枠の幅条件や、プリントがある大きさ分大きくプリントするためなどの条件が記述されている。

【0164】 [レイアウト枠情報] レイアウト枠情報ではテンプレートに画像を割り付ける際の割付枠に関する情報が記述されている。

【0165】これは図 8 に示されるようにテンプレートに対して画像枠や文字枠が形成されているがその条件に関して定義されている。

【0166】内容としては枠を識別する番号とその位置情報、位置情報は画素数または mm などの単位で与えることが可能で、その大きさを画素数または mm 単位で表すことが可能な枠のサイズ情報、異なる枠が重なり合うときの重ね合わせ順番、四角形、円形、橢円形などの形状を表すパラメータ、文字か画像データかを表すパラメータ、レイアウト枠の属性を表す情報が記述されている。²⁰ここでレイアウト枠の属性とはその枠に対して位置の変更を禁止する、大きさを変更することを制限または禁止する、レイヤ変更を禁止する、画像変更を禁止する、マスクの変更を禁止する、枠そのものの選択を禁止する、回転を禁止する、といった枠の機能を限定できる。

【0167】 [グループ情報] グループ情報では複数のレイアウト枠情報の関係を記憶してグループ化を行う。

【0168】 [オブジェクト情報] 画像や文字に対するオブジェクトの情報が記述される。まず共通項としては文字オブジェクトなのか画像オブジェクトなのかを表すためのタイプが記述され、それと関連づけられるレイアウト枠情報に記述されている枠を識別する番号が記述される。

【0169】画像オブジェクトに関しては画像データの名前および存在場所、それに使用されるマスク画像の存在場所、画像張り付け位置、拡大率、回転角度、画質調整パラメータ、等の編集情報が記述される。

【0170】本発明ではこのように画像指定、編集情報を記述することにより、顧客側で画像オブジェクト（画像データそのもの）に実際に手を加えないで済むため、¹⁰画質の劣化を最小限で防ぐことができる。例えば顧客が画質調整等を行うと階調のつぶれやとびを生じてしまう

ことがあり、一度このようになってしまった画像は受信した側では復旧できない。そのため、たとえ画像や文字の合成であってもオリジナルの画像オブジェクトを受けることは重要である。

【0171】ここでマスク画像とは特に複雑な輪郭をした画像の張り付けを行う場合、記号で表現することが困難であるため、その輪郭形状をした単色画像を用意し、その部分にのみ画像が張り付くようにすれば簡単に複雑な輪郭を表すことができる。

【0172】また輪郭を任意に背景の画像と溶かし込み²⁰を行いたいような場合、マスク画像を背景と合成する割合をパーセントで定義することにより比較的簡単にを行うことができる。

【0173】文字オブジェクトの場合には文字列定義ファイル名および存在場所、文字領域のサイズ（幅、高さ、角度）が記述される。尚、上記のような記述は、その内容を表す予約語にパラメータを付けた形で記述される。例えばオブジェクト情報でオブジェクトタイプを指定する場合、 [object data] Type = 1 ; のように記述すると、オブジェクトタイプが 1 となり、オブジェクトとして image (画像) が選択される。³⁰ここで、 Type が予約語であり、 1 がパラメータである。

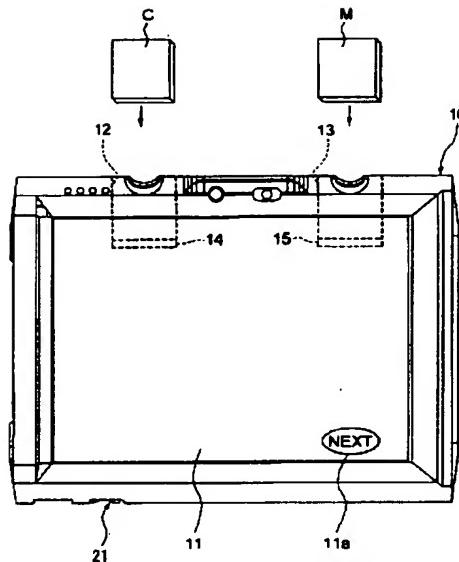
【0174】このように注文時にはオリジナルの画像を直接編集することなく、そのアドレス情報と編集情報から高速に注文情報を作成できる。またフル画像でなく、間引きされた画像の編集により、端末の負荷も小さくすることができる。また一方で画像形成装置では注文された情報からフル画像で鮮明なプリント画像を作成できる。

【0175】上記のようにして作成されたプリント注文情報は、注文 ID フォルダごと圧縮して、送信または保存すれば容量や管理の面で効率的である。

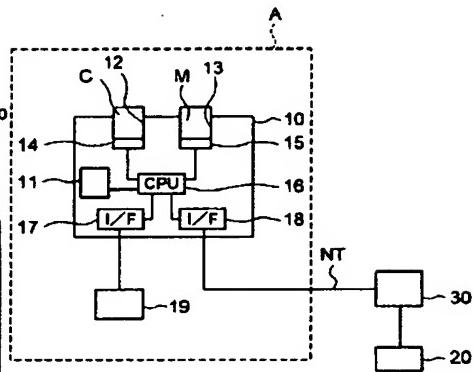
【0176】現像所（例え複数の店舗分のオーダをまとめて処理を行う集中型ラボ）では図 14 に示すようにプリント注文情報を受信後、プリント注文情報をサーバ 30 に記憶する。

【0177】サーバ 30 では記憶されたプリント注文情報の圧縮を解凍し、プリント注文情報の解析を行う（図 14 のステップ S 301）。このときプリント注文情報の有効性を確認するために拡張フォーマット部分のユー

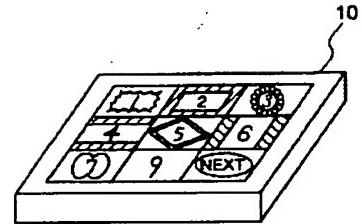
【図1】



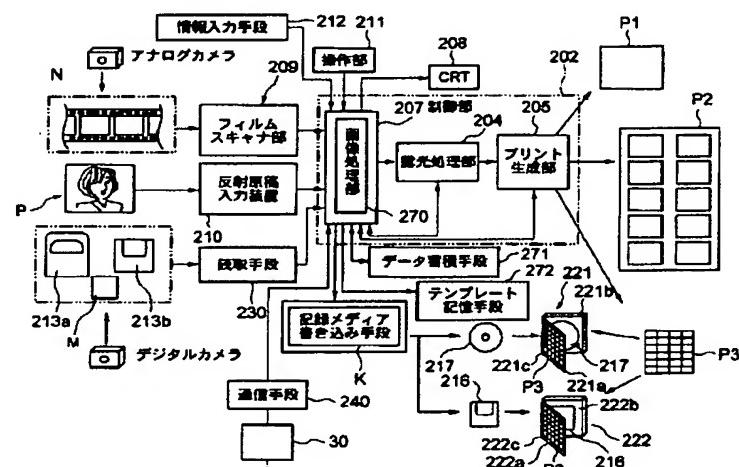
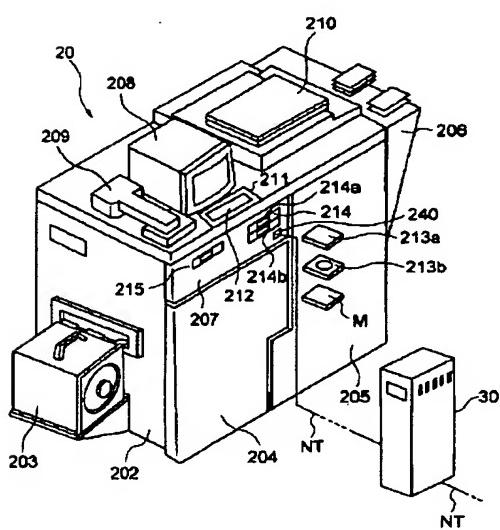
【図2】



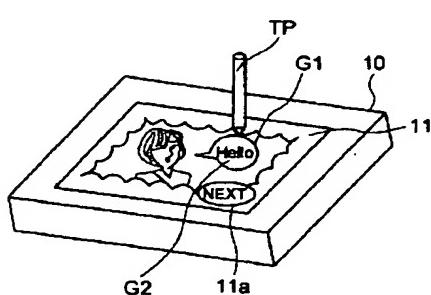
【図5】



【図3】



【図6】



ザ名とパスワードで認証を行っても良い。ORDER.TXTから基本的な処理情報を抽出し、ORDER2.TXTの内容と合わせて処理工程の確認用の伝票が作成される(図14のステップS302)。

【0178】この場合、名刺や、グリーティングカードや、ポストカードのように編集作業を伴う場合、簡易的な作業確認用としてmerge.bmpの画像を出力して添付すると完成イメージを確認できるので生産される画像が正しいかなどの確認が行え効果的である。

【0179】クレジットカード認証などの課金確認が必要なときは認証処理を行い(図14のステップS303)、order2.txt、layout.tqlを用いてレンダリング処理を実行する(図14のステップS304)。

【0180】レンダリング処理はプリント用に画像を再合成する処理で、プリント注文情報作成時に用いられていた間引き画像は全てフル画像を用いて合成される。その後レンダリングされた画像とorder.txtを元にして出力用データ(DPOF仕様:order.txtはほぼそのままAUTPRINT.MRKに変更される)が作成され、プリントに移る(図14のステップS305)。ここで出力先画像形成装置情報から出力する画像形成装置を選択し(図14のステップS306)、画像形成装置へDPOF仕様データを送る(図14のステップS307)ことでプリントが行われる(図14のステップS308)。

【0181】以上のように注文時にオリジナルの画像を直接編集することなく、そのアドレス情報と編集情報から高速に注文情報を作成できる。またフル画像でなく、間引きされた画像の編集により、端末の負荷も小さくすることができる。また一方で画像形成装置では注文された情報からフル画像で鮮明なプリント画像を作成できる。

【0182】さらにマージされた合成画像も付与されていることで顧客が確認した画像とプリントされた画像の比較も容易に行うことができ、プリントの失敗も防ぐことができる。

【0183】以上、本発明を実施の形態を参照して説明してきたが、本発明は上記実施の形態に限定して解釈されるべきではなく、適宜変更・改良が可能であることはもちろんある。例えば、上述したプログラムは、PCカードやCDなど他の記憶媒体に記憶され、必要に応じてCPU16に読み出されてもよい。

【0184】

【発明の効果】本発明によれば、操作に不慣れな者であっても画像の合成を容易に行えると共に上記の素早く、確実にプリント画像が得られるプリント注文受付器、プリント注文受付作成システム及びプリント注文データプロダクトを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態にかかるプリント注文受付器の上面図である。

【図2】本実施の形態にかかるプリント注文受付器の動作を説明する図である。

【図3】本実施の形態にかかるプリント作成装置(画像形成装置)の斜視図である。

【図4】プリント作成装置の構成を示すブロック図である。

【図5】液晶画面11の表示形態の一例である。

【図6】液晶画面11の表示形態の一例である。

【図7】表示画面としての液晶画面11の、画像編集時における表示態様の一例を示した図である。

【図8】液晶画面11の別な表示態様を示す図である。

【図9】CPU16の内部メモリ内に構築されたプリント注文のバックアップファイル構成を示す図である。

【図10】注文IDの例を示す図である。

【図11】店舗の関係を示す図である。

【図12】注文の流れを示すフローチャート図である。

【図13】注文オーダ生成の流れを示すフローチャート図である。

【図14】生産の流れを示すフローチャート図である。

【図15】図15(a)は拡張オーダ情報ファイルの内容を示す図であり、図15(b)はレイアウト情報ファイルの内容を示す図である。

【符号の説明】

10 プリント注文受付器

11 液晶画面

14 読取装置

15 読み取り・書き込み装置

16 CPU

20 画像形成装置(プリント作成装置)

30 カバー部材

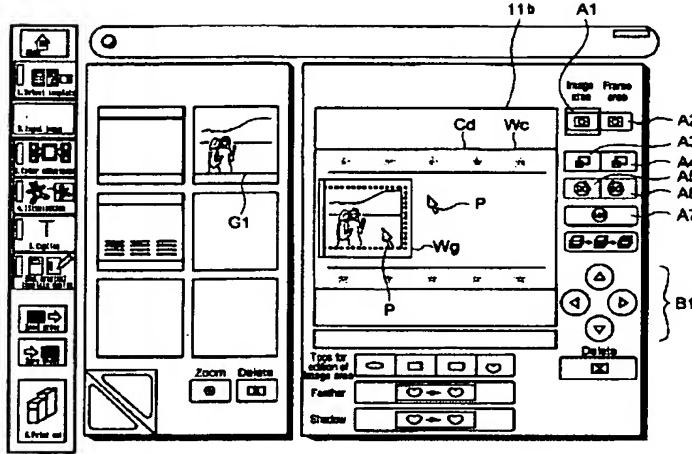
40 31 ロック装置

C リムーバブルメディア

M リムーバブルメディア

NT インターネット

【図7】



【図10】

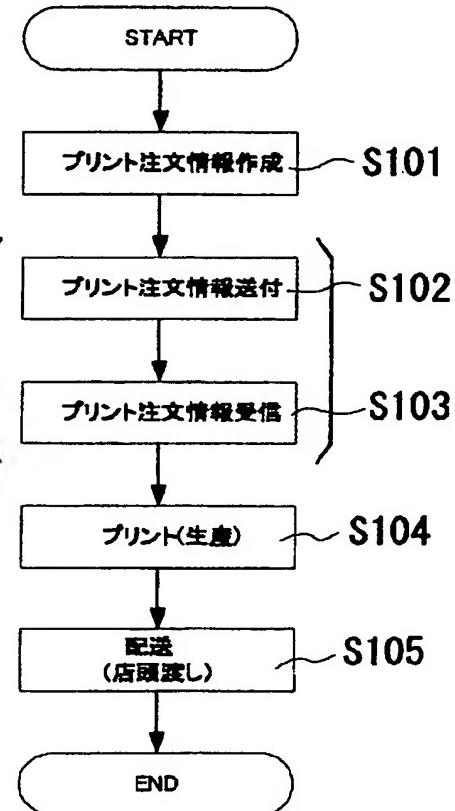
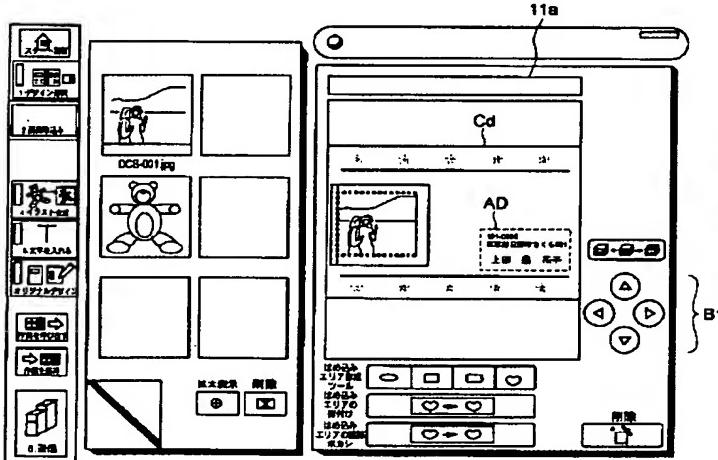
注文ID(上)、生産管理ID(下)の形態

jp0000rfjp0000cea0120001221155634001
 A2 店舗ID A3 標識番号 A4 年月日時分 A5 シーケンシャル番号
 A6 A7 店舗ID シーケンシャル番号

【図12】

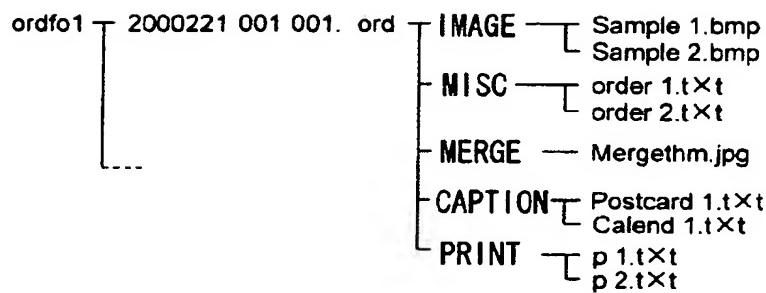
注文の流れ

【図8】



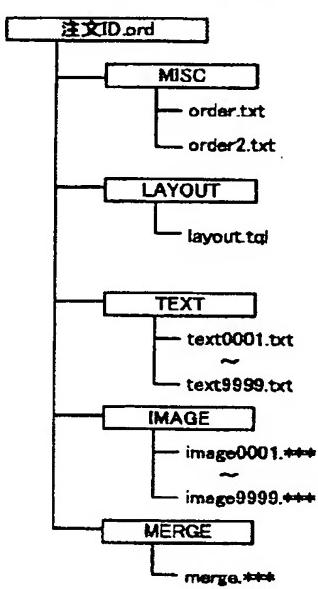
【図9】

(a)



(b)

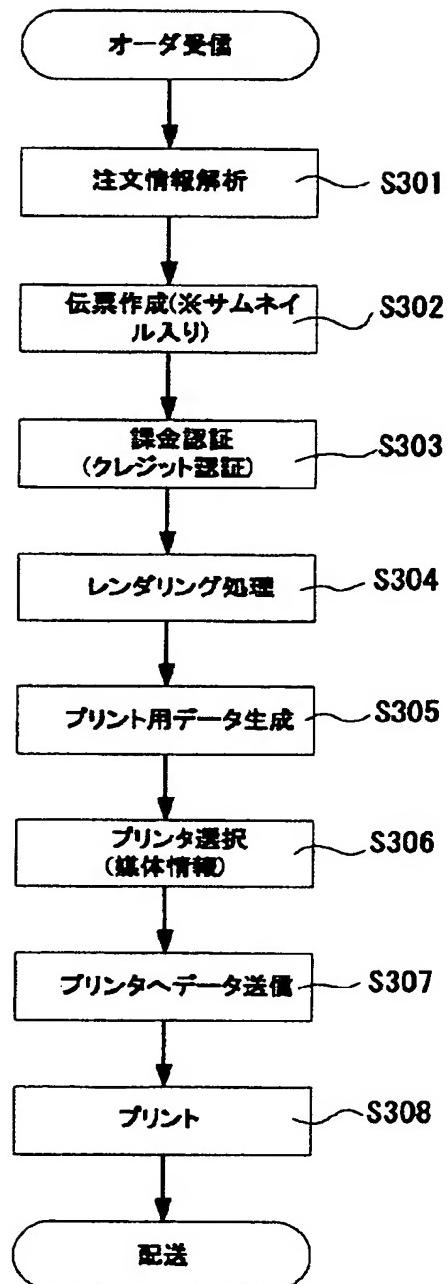
プリント注文情報のファイル構造



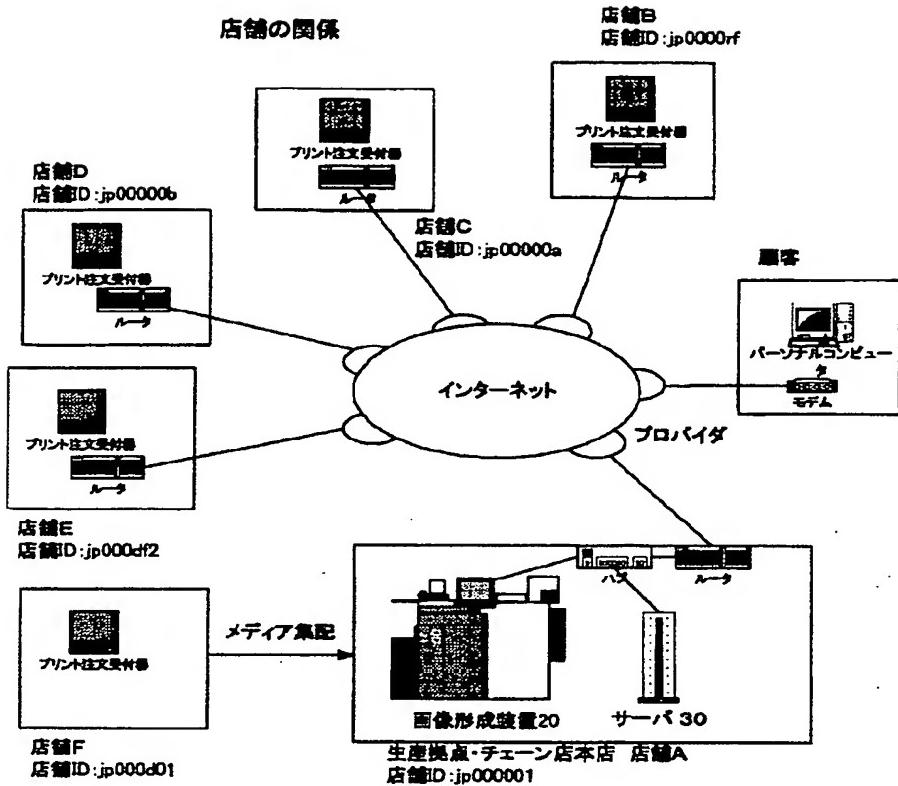
注: 識別子***は使用する
画像、目的とする再現
画像により異なる

【図14】

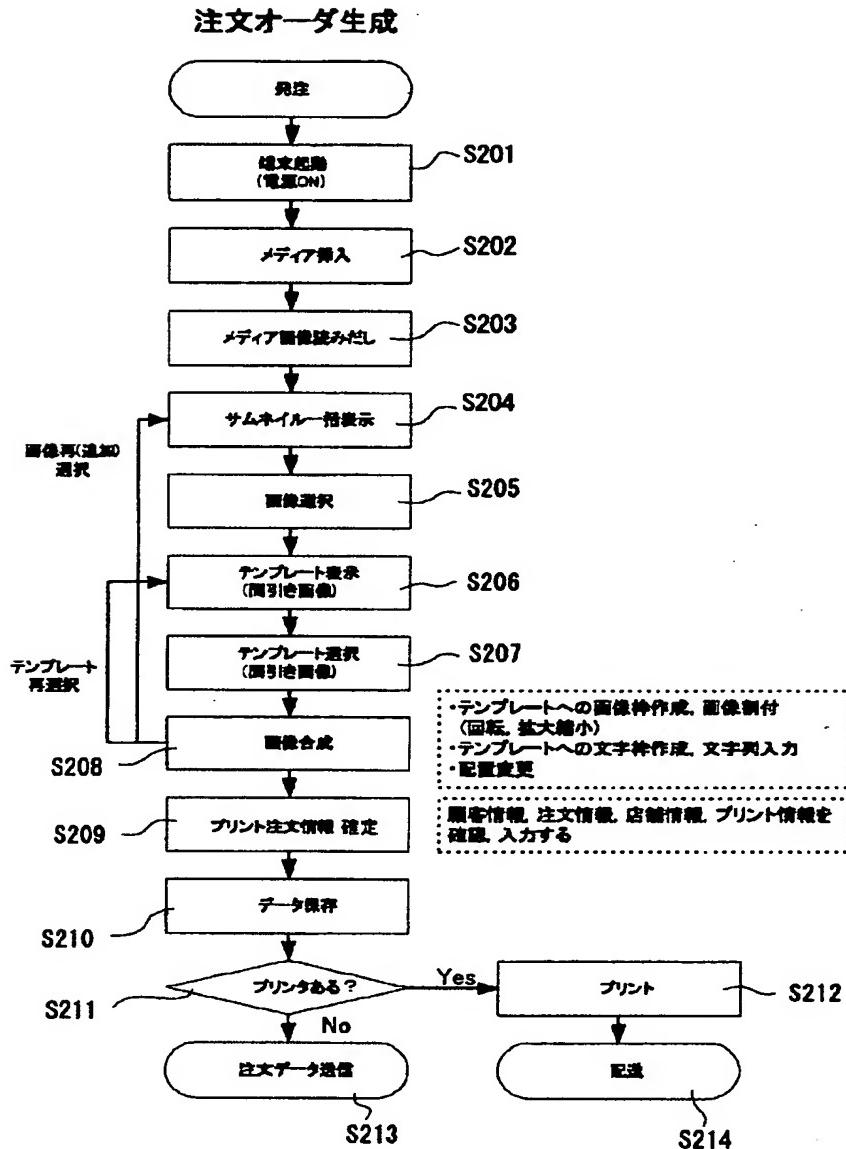
生産の流れ



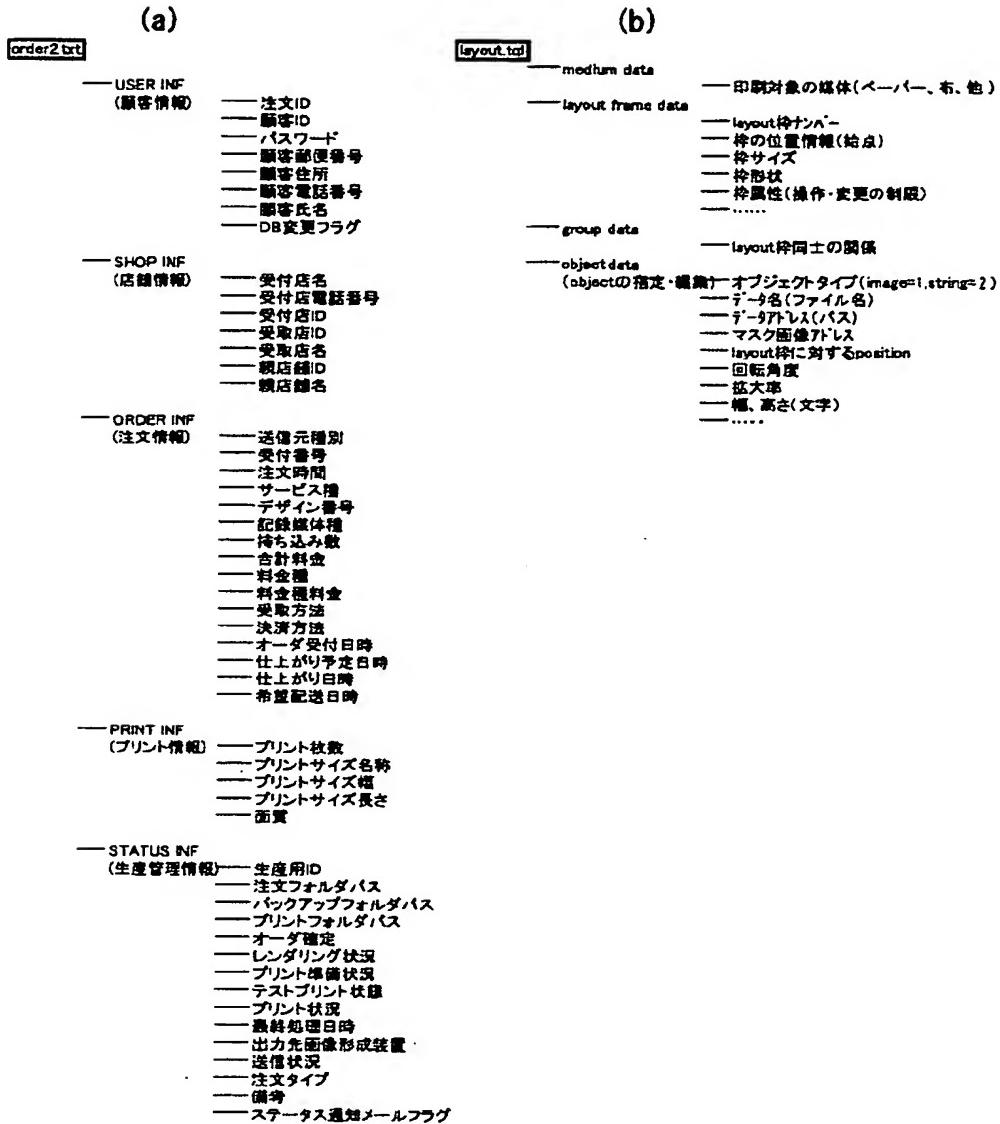
〔 1 1 〕



【图 13】



【図15】



フロントページの続き

(51) Int.CI. ⁷	識別記号	F I	マークコード (参考)
G 0 6 F 3/00	6 5 1	G 0 6 F 3/00	6 5 1 B
G 0 6 T 3/00	3 0 0	G 0 6 T 3/00	3 0 0
H 0 4 N 1/387		H 0 4 N 1/387	

(72)発明者 五十嵐 隆史
 東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式
 会社内

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公開番号】特開2001-297238(P2001-297238A)

【公開日】平成13年10月26日(2001.10.26)

【出願番号】特願2001-19504(P2001-19504)

【国際特許分類】

G 06 Q	30/00	(2006.01)
G 06 Q	50/00	(2006.01)
G 06 Q	10/00	(2006.01)
G 03 B	27/46	(2006.01)
G 06 F	3/048	(2006.01)
G 06 T	3/00	(2006.01)
H 04 N	1/387	(2006.01)

【F I】

G 06 F	17/60	3 1 8 Z
G 06 F	17/60	1 0 6
G 06 F	17/60	1 2 4
G 06 F	17/60	5 0 2
G 03 B	27/46	B
G 06 F	3/00	6 5 1 B
G 06 T	3/00	3 0 0
H 04 N	1/387	

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月25日(2005.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】表示画面と、

顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、
メモリと、

プリント注文のため前記表示画面上で前記オリジナル画像データをオリジナル画像オブジェクトとして処理し、前記オリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成し、編集することの可能なオブジェクト操作手段と、

前記オブジェクトの操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し、

前記プリント注文情報作成手段は、合成されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、複数のオブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、かつ前記メモリに保存することを特徴とするプリント注文受付器。

【請求項2】前記テキストデータはテキストファイルとして前記メモリに保存されることを特徴とする請求項1に記載のプリント注文受付器。

【請求項3】前記操作情報は、オリジナル画像オブジェクトに対する色変換、回転、変形、サイズ変更の操作の少なくともいずれか一つに対応し、画像オブジェクトと対応づけたデータとして前記テキストデータに記述されることを特徴とする請求項1又は2に

記載のプリント注文受付器。

【請求項4】 前記操作内容は、顧客のオリジナル画像データを直接処理することなくテキストに置き換えられることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項5】 前記複数のオブジェクトは文字列（STRING）データに対応する文字オブジェクトを含み、前記オブジェクト操作手段は前記オリジナル画像オブジェクトと文字オブジェクトを合成することが可能であり、前記操作情報には文字オブジェクトに対する操作を含むことを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項6】 前記複数のオブジェクトは所定のテンプレートに対する第2の画像オブジェクトを含み、前記オブジェクト操作手段は第2の画像オブジェクトと前記オリジナル画像オブジェクト間のレイアウトを操作可能であり、前記操作情報は前記レイアウトに対応する操作内容をテキストデータとして含むことを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項7】 前記操作情報は画像オブジェクトを配置するためのレイアウト枠の種類、属性を含むことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項8】 前記プリント注文情報生成手段は、前記テキストデータを保存するフォルダに対応するパスを生成することを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項9】 前記パス名はプリント注文情報をユニークに示す注文IDを含むことを特徴とする請求項8に記載のプリント注文受付器。

【請求項10】 前記顧客の画像データと前記テキストデータは前記フォルダに格納されることを特徴とする請求項1乃至9のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項11】 前記アドレスおよび操作情報は前記テキストデータ上に所定のフォーマットで記述されることを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項12】 前記アドレスおよび操作情報は前記テキストデータ上に予約語と共に記述されることを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項13】 前記テキストデータはテキストファイルとしてメモリに保存されることを特徴とする請求項1乃至12のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項14】 前記プリント注文情報生成手段は、前記複数のオブジェクトの操作結果を示すサムネイル画像を生成し、前記テキストデータと対でメモリに保存することを特徴とする請求項1乃至13のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項15】 前記プリント注文情報生成手段は、写真受付をした店舗に関する情報、顧客に関する情報、課金に関する情報、の少なくとも1つを含むテキストデータを生成することを特徴とする請求項1乃至14のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項16】 前記画像データ入力部はメモリスロットで構成され、顧客の画像データを格納したリムーバブルメディアから画像データを読みとることを特徴とする請求項1乃至15のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項17】 前記メモリは少なくとも顧客の画像データを記憶可能なメモリであり、該メモリ内には顧客の画像データと共に前記テキストデータを格納することを特徴とする請求項1乃至16のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項18】 前記プリント注文情報を格納したメモリはリムーバブルメディアであることを特徴とする請求項1乃至17のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項19】 前記プリント注文情報はデータ転送手段を介してメモリから外部へ転送可能であることを特徴とする請求項1乃至18のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項20】 前記テキストデータは、回転、移動、拡大又は縮小の操作の少なくとも一つを制限または禁止するテキストデータをオブジェクト毎に含むことを特徴とする

請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項 21】 前記複数のオブジェクトは文字列（STRING）データに対応する文字オブジェクトを含むとともに、前記オブジェクトが文字オブジェクトの場合、オブジェクトの回転を禁止することを特徴とする請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項 22】 前記プリント注文情報は、顧客を特定するデータ、店舗を特定するデータの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 21 のいずれかに記載のプリント注文受付器。

【請求項 23】 プリント注文受付器と、
プリントを生成するための画像形成装置と、
プリント注文受付器から画像形成装置間にプリント注文情報を送るためのデータ移動手段と、を有し、

前記プリント注文受付器は、
表示画面と、
顧客のオリジナル画像データを入力するための画像データ入力部と、
メモリと、
前記表示画面上で前記オリジナル画像データに対応するオリジナル画像オブジェクトを含む複数のオブジェクトを合成および編集することの可能なオブジェクト操作手段と、
操作結果に基づいてプリント注文情報を生成するプリント注文情報生成手段と、を有し

前記プリント注文情報生成手段は、操作されたオリジナル画像オブジェクトの画像データが存在するアドレスと、オリジナル画像オブジェクトに対する操作内容に対応した操作情報を関連づけたテキストデータを作成し、前記メモリに保存し、

また前記画像形成装置はプリント注文情報を受け取ると、前記プリント注文情報内の前記テキストデータに基づき、プリント注文受付器の操作結果に対応する画像をオリジナル画像に基づいて再現し、プリント作成を実行することを特徴とするプリント注文受付作成システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

そこで本発明はかかる従来技術の問題点に鑑み、操作に不慣れな者であっても画像の合成を行えると共に上記の素早く、確実にプリント画像が得られるプリント注文受付器及びプリント注文受付作成システムを提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 9
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0184

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0184】

【発明の効果】

本発明によれば、操作に不慣れな者であっても画像の合成を容易に行えると共に上記の素早く、確実にプリント画像が得られるプリント注文受付器及びプリント注文受付作成システムを提供することができる。